

題目(主題)はこの行に記入してください(16pt)

題目(副題)はこの行に記入してください。副題がない場合はこの行は空白にしてください(以後すべて9pt)
英題を記入してください(フォントはTimes系の太字、邦題と完全一致する必要はありません。1行以内)

氏名と所属(括弧書きもしくは右肩数字などで書いてください。会員か非会員かは明示する必要ありません)

Keywords: ○○, ××, △△(重要度順に5つまで英語で記載。専門用語で、なるべく題目に含まれないもの)。

ハイライト

研究のエッセンス、セールスポイントを2行以内でまとめてください。

目的

取り上げる問題の重要性、その研究の背景、問題点、目的などを記入してください。

以下は「実証研究」部門の書き方の典型例を示しています。実証研究でない部門（理論研究など）は、適宜、見出しが変更して、順序立ててわかりやすく記述してください。

方 法

参加者(人数、年齢、性別、その他の属性)、場所、手続きなどを記入してください。質問紙は、出典を示すだけでなく、7件法15項目と明記し、できれば具体的な項目例を最低1つは書いてください。

結果

研究の結果をわかりやすく順序立てで丁寧に説明してください。文章がメインで、図表はあくまで補助です。図表は大きくしきぎないように気をつけてください。

得点の差や高低に言及する場合は、なるべく平均値(M)と標準偏差(SD)を文中に記載するか、表などで別途記載する。例: 畏怖感情は、瞑想群($M=4.2$, $SD=1.2$)のほうが非瞑想群($M=3.1$, $SD=10.8$)よりも高かった($t[62]=3.47$, $p=.018$)。

表の例: 基本的に横線のみで作成してください。

考 察

研究結果を整理するとともに、細く見ていき、それに対する考察を記入してください。

文献もしくは主要文献
著者名(出版年). 論文題目 雑誌名, 卷数, 開始ページ-終了
ページ. (雑誌論文の場合)

本文で参照した資料(文献, ウェブサイト, CDなど)を記載してください。抄録は要約なので, 主要文献のみでも, 本文中に, 著者の姓と出版年があれば, 文献欄は省略しても構いません。

※文献の引用の仕方、図表の作り方、その他の形式については、日本心理学会編「執筆・投稿の手引き2022年改訂版」または「執筆・投稿の手引き2015年改訂版」（<https://psych.or.jp/manual/>）に準じてください。